

2014. 7. 4 (金)

エコールKOBEdaより

NO 3

発行 福祉事業型「専攻科」エコールKOBEda

7月に入り、いよいよ暑い夏に突入です。エコール KOBEda は福祉の事業ですので、7月8月もお盆休み以外は長期の休みはなしで活動が続きます。ただし、8月は1日～22日までは暑い時期を考慮して13:30下校としますので、よろしくお願ひします。

6月は4回目を迎えた神戸大学発達科学部とのキャンパス交流という大きな取り組みがありました。2年生は進路学習の一環で会社や事業所見学をし、月末からはいよいよ体験実習もスタートしました。ホテルサーブでのバイキング体験や映画鑑賞会、さらには高取山登山と須磨海岸までのウォーキングするマウンテン&シーの(7/1)体験などがありました。今号での報告内容になります。

神戸大学とのキャンパス交流

エコール学生が生き生きと交流をリード

エコール開設以来、毎年実施している神戸大学とのキャンパス交流ですが、今年で4回目。毎年交流の内容、学生の発表の質が進化しています。今年は当初からお世話になっている渡部昭男先生の講義の都合で前期での実施(6月26日)になりました。

ふりかえると、初回の交流はエコール KOBEda の紹介がメインで、渡部先生の質問などで経過しました。2回目から学会での発表スタイルのパネル発表を取り入れ、3回目はパネル発表に加えてエコール学生のリードによる歌とダンスのパフォーマンスで盛り上がりました。今年はさらに天井喜劇(短い新喜劇)も加えたパフォーマンスで学生が生き生きとリードしての交流になりました。

150名規模の大きな教室での交流ですが、堂々と司会進行し発表する姿は同世代の神戸大学生にも強いインパクトを与えたようです。

もちろん当日までの準備活動も大切な活動です。希望で発表の役割を決め、それぞれの準備を短い期間ですがよくやってきたと思います。とくに1年生にとってはまだエコールでの生活も短く、イメージもわからない中、よく準備に参加できたと思います。



天井喜劇、歌とダンスで盛り上がる



神戸大学生の感想より

『エコール神戸の学生たちは前に出てしっかり話したり、発表したりできるすばらしい力を持っていると感じた。もっとそのような力を引き出してあげられるような環境をととのえる必要があると感じた。一般の学生に比べて障害を持つ学生の進学率が低いという現状をもっと深刻に受けとめ、考える必要があると思った。』

エコール神戸の学生は前回ビデオで見た以上に自主性があふれていて、すごくいきいきとしていた。もっと輝ける場を作ることが必要であると思った。』

『内容がとても充実していて、今日のためにたくさん準備してこられたのだなと感動しました。エコール神戸の学生はみんな楽しそうで、仲が良さそうで、とても意欲的だと思いました。』

ポスター発表が終わったあと、各発表に先生方がコメントをしていらっしゃいましたが、先生方がきちんと学生をほめてあげていて、ほめることが学生の意欲を引き出し、楽しく学んでいかせるために大事なのかなと感じました。』

マウンテン&シー(7/1)

高取山登山と須磨の海までのウォーキング)

7月1日の野外活動は「マウンテン&シー」です。昨年は雨で実施できなかったのが2年越しの実施。希望をとって高取山登山組と須磨の海までのウォーキング組に分かれて活動しました。暑い中での登山とウォーキングで疲れた人もいましたが、それぞれに達成感のある野外での活動になりました。



高取山登山
頂上についてバンザイ！



須磨の海までウォーキング
途中で大好きな電車！

